

科目区分・分類	専門・講義	対象学科名・学年	電子情報2年	科目コード	29400300
科目名	情報処理 Information Processing				
担当教員	大矢 健一, 荒井 善昭				
単位数(時間数)	必修 通年 2単位 (60時間)	学習・教育目標との対応	(C-2)(D-2)		
授業の目的と概要	C言語を用いてプログラミング技術を習得するとともに、データ構造とアルゴリズムおよびファイル処理の基礎など、システム設計に必要な知識を修得する。				
先修科目	電子情報工学概論				
後修科目	マイクロコンピュータ, コンパイラ, アルゴリズムとデータ構造				
備考	1年次に修得した情報処理基礎の知識を必要とする。 また、電子情報工学棟2Fの情報処理実習室のパソコン環境を修得しているものとして演習を行う。				
	授業項目	時間	内容		
1	C言語概要	2	C言語のデータ型・代入が理解でき、コンパイルと実行ができる。		
2	制御の流れ	8	if-else・while・for・switch 文を理解し、正しいコードが書ける。		
3	配列	8	配列を理解し、正しいコードが書ける。		
4	関数	10	関数を理解し、引数・戻り値を理解し、正しいコードが書ける。		
5	まとめ	2	これまでの授業をもとに総合的な課題を実行できる。		
6	ポインタ	8	ポインタの使い方を理解し使える		
7	文字列操作	6	文字列操作のコードが書ける。		
8	構造体と共用体	10	構造体および共用体の扱いを理解し、正しいコードが書ける。		
9	ファイル処理	4	標準入出力関数、ファイル操作関数を用いたプログラムが作成できる。		
10	まとめ	2	これまでの授業内容を総合的に理解できる。		
学年末試験					
学習・教育目標を達成するために身に付けるべき内容	基礎的なC言語のプログラムを読むことができ、 また、「順次・選択・反復」の基本三構造を意識したプログラミングができる(C-2)。 モジュールを意識したプログラミングが作成でき、具体的な事例に適用できる(D-2)。				
成績評価	前期はレポート(100%)で評価する。 後期は定期試験の成績(70%)と授業毎に与える課題(30%)を総合的に判断して評価する。 上記(C-2)が70%、(D-2)が30%の重みで成績を評価し、 前期、後期ともそれぞれ6割以上の得点で合格とする。				
教材	教科書：柴田望洋「新・明解C言語 入門編」, ソフトバンククリエイティブ。				
オフィスアワー	月曜日16:00～17:00, 電子情報工学科4F第7教員室(大矢) 水曜日16:00～17:00, 電子情報工学科3F第5教員室(荒井)				